



2022年10月27日

各 位

会 社 名 株式会社テリロジー
代 表 者 名 代表取締役社長 阿部 昭彦
(コード番号 3356 東証スタンダード市場)
問 合 せ 先
役 職 ・ 氏 名 執行役員 経営管理部長 廣谷 慎吾
電 話 03-3237-3291

取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社取締役会は、コーポレート・ガバナンスコードで実施が要請されている当社取締役会の実効性についての分析・評価を実施いたしましたので、ご報告いたします。

記

I. 評価の方法

- (1) 対象者：取締役・監査役 8名
- (2) 実施期間：2022年4月15日～2022年5月16日
- (3) 回答方法：【アンケート方式】
 - ・ 全25項目に対し、5段階評価
 - ・ 評価理由や意見等を必要に応じて自由欄に記載

II. 2022年度の取締役会の実効性に関する評価の結果（概要）

アンケートの分析・評価結果の概要は、以下の通りとなりました。

① 取締役会の役割・機能について

取締役会の役割・機能については、取締役自身の目指すべき姿や経営理念を踏まえた議論について、実効性が確保されていると評価されました。一方で、後継の経営人材育成や役員の報酬については、今後活発な議論が必要との意見がありました。

② 取締役会の構成・規模について

取締役会の構成・規模については、業務領域に専門性をもった取締役・監査役が配置されていると評価されました。一方で、社外役員やジェンダー面での偏りがあり、今後の改善が必要との意見がありました。

③ 取締役会の運営について

取締役会の運営については、頻度・決議内容など、全体として実効性が確保されていると評価されました。経営に関わる重要事項を簡潔に議論しており、オープンで自由に意見ができる雰囲気であるとの意見がありました。

④ 監査機関との連携について

監査機関との連携については、全体として実効性が確保されていると評価されました。特に内部通報制度やリスク管理体制については、定期的な運用状況の監督を実施しており、高い評価となりました。

⑤ 社外取締役との関係について

社外取締役との関係については、社外取締役の経験発揮について実効性が確保されていると評価されました。一方で、取締役会以外の場で社外取締役による監督機能の発揮についての評価は偏りがあり、これからより機会が整備されることを期待する意見がありました。

⑥ 株主・投資家との関係

株主・投資家との関係について、全体として実効性が確保されていると評価されました。一方で、業績や経営戦略が正しく株価に反映されているといえないという意見があるなど、今後さらなる拡充が期待される評価となりました。

⑦ 総括

総括として、昨年度と比較してガバナンス体制の拡充については実効性が確保されていると評価されました。コーポレート・ガバナンスコードに則って徐々にガバナンス体制は改善、拡充してきているという意見がありました。

III. 今後の対応について

当社の取締役会は、上記の分析・評価結果を踏まえ、課題として認識した事項については、今後改善に向けた取り組みを行ってまいります。また実効性が適切に確保されていると認められた事項についても、なお一層取締役会の実効性を高めるための取り組みを強化・継続してまいります。

以上